

高仕上がり水性速乾形塗料

# アレス水性ネクスト

(国土交通省 防火材料認定品)



水性だから人と環境にやさしい。

低VOC  
タイプ **1**%  
以下

# ニュー W マイクロ技法

ダブル

+

# 水性化をついに実現

アクア

アレスネクストがさらに進化し、次世代型(完全水性化)に突入。  
室内環境・塗膜品質・仕上性・作業性…究極の4大ニーズを徹底追及。

## 特長

### 1 室内環境面

1. 水性(低臭)

2. VOC1%以下

3. F★★★★

4. 無鉛

5. 抗菌性

6. 防カビ性

### 2 塗膜品質面

1. 易汚染除去性

2. 耐水性

### 3 仕上性

1. 均一な3F(3分艶)、5F(5分艶)仕上げ

2. キメ細かい滑らかな肌と艶を演出

3. 従来の水性塗料にない肉持感

4. 深みのある素地の質感を堅持

### 4 作業性

1. 抜群のローラー適性・ハケ塗り適性

2. トマリ抜群(室内光を乱反射)

3. 速乾性

## 適用素材

### ■素材

鉄部・木部

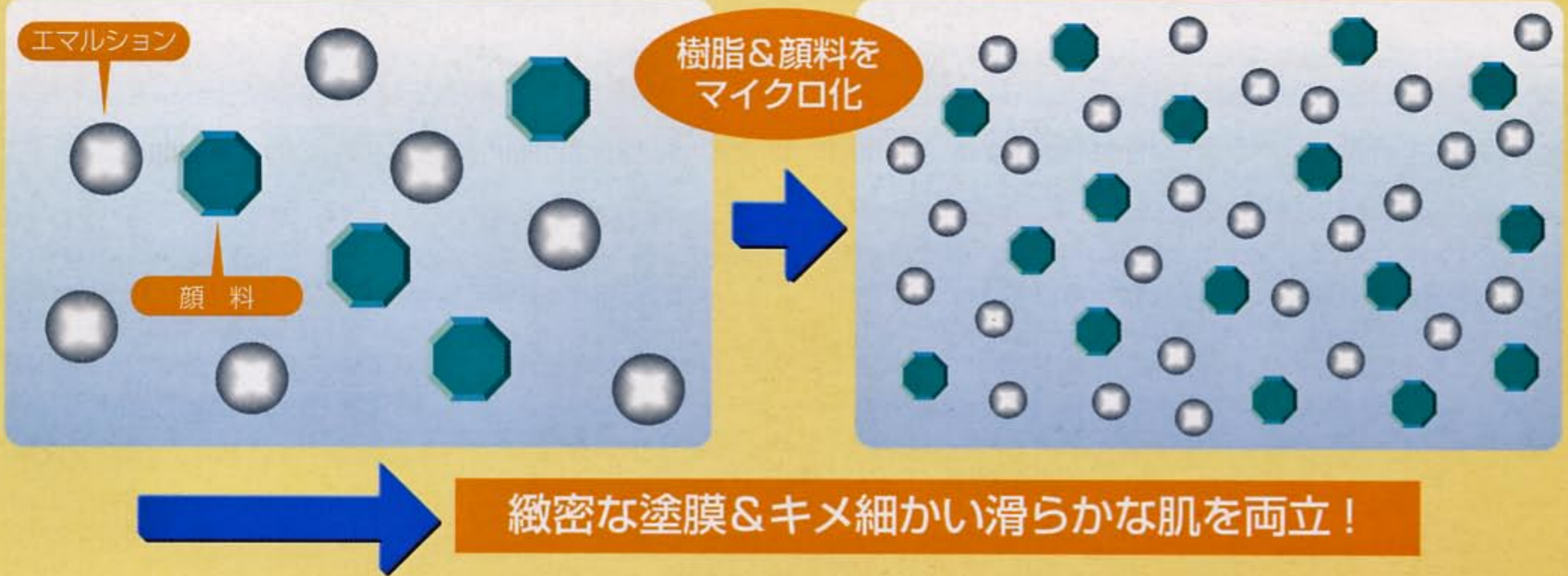
### ■主な用途

鉄扉、手すり、鋼製建具類他室内鉄部全般

間仕切り、巾木、木製家具類他室内木部全般

※耐アルカリ性は付与していませんのでコンクリート・モルタル・珪酸カルシウム板等の無機素材には塗装しないでください。

## ニューW マイクロ技法の秘密



## 性能

### 防カビ性能

注)JIS Z 2911  
カビ抵抗性試験方法に準ずる。

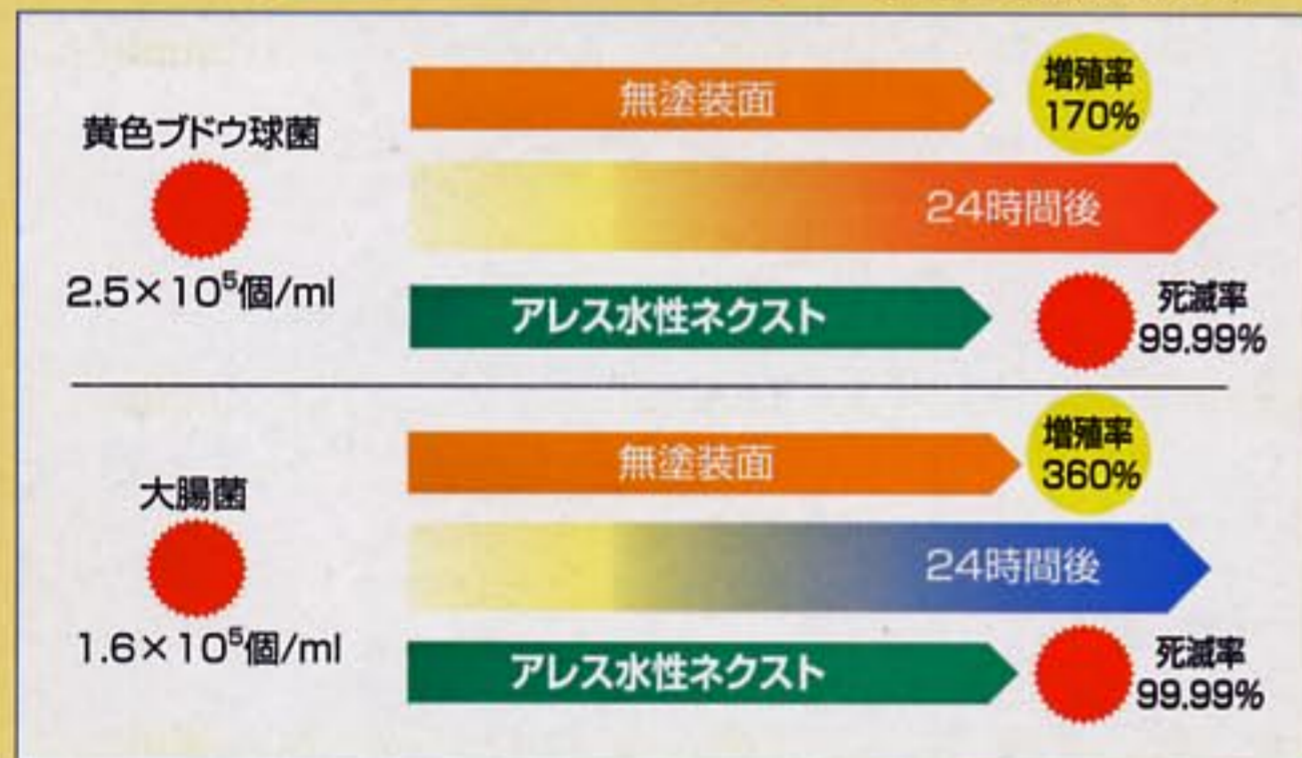


従来品

アレス水性ネクスト

### 抗菌性能

注)JIS Z 2801  
フィルム密着法に準ずる。



### 厚生労働省・文部科学省のVOC規制対応

		室内濃度指針値	アレス水性ネクスト
文部科学省	ホルムアルデヒド	0.08ppm	全て一切配合せず
	トルエン	0.07ppm	
	キシレン	0.20ppm	
	パラジクロロベンゼン	0.04ppm	
厚生労働省	エチルベンゼン	0.88ppm	
	スチレン	0.05ppm	
	クロルピリホス	0.07ppb	
	フタル酸ジ-n-ブチル	0.02ppm	
	テトラデカン	0.04ppm	
	フタル酸-2-エチルヘキシル	7.6ppb	
	ダイアジノン	0.02ppb	
	アセトアルデヒド	0.03ppm	
フェノブガルブ	3.8ppb		
鉛(東京都鉛ガイドライン)			配合せず
塗料中のVOC総量			0.3% (白)

## 商品体系 荷姿

体系	アレス水性ネクスト3F (3分つや仕上げ)	アレス水性ネクスト5F (5分つや仕上げ)
色・荷姿	白: 15kg・4kg	白: 15kg・4kg
黒・赤さび色・黄土色・黄・青・赤: 各15kg・4kg		



# アレス水性ネクスト

標準塗装仕様(室内鉄部、木部の完全水性システム化)

F★★★★仕様

## 室内鉄部

工程	塗料及び処置	塗装回数	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (%)
1. 素地調整	工場ですび止め塗装された面は全面サンドペーパーがけし、油脂分や汚れ部分を除去し、洗浄な面にしてください。 ※塗り替え時:旧塗膜が光沢を持っている場合は事前に入念な目粗しを行ってください。					
2. 下塗り	アクアマックスII	1	ハケ、ローラー(短毛)	4時間以上	0.14	上水:0~5
3. 上塗り	アレス水性ネクスト3Fまたは5F	2	ハケ、ローラー(短毛)	2時間以上	0.08~0.12	上水:3~8

## 室内木部

工程	塗料及び処置	塗装回数	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (%)
1. 素地調整	汚れ、シミ、ヤニなどを入念に除去した後、パテかき部などはサンドペーパーにて表面を平滑にし、研ぎ粉が残らないように清浄な面としてください。 ※塗り替え時:旧塗膜が光沢を持っている場合は事前に入念な目粗しを行ってください。					
2. 下塗り	アクアグランドコート	1	ハケ、ローラー(短毛)	2時間以上	0.12~0.14	上水:5~10
3. 上塗り	アレス水性ネクスト3Fまたは5F	2	ハケ、ローラー(短毛)	2時間以上	0.08~0.12	上水:3~8

注)1.各工程間でペーパーがけを行ってください。

2.下塗りのアクアグランドコートを研磨した後は、研ぎ粉が塗膜表面に残らないように清浄な面としてください(ブツや付着不良の原因となります)。

3.端部などは一般にスケ易いので先行塗りなどの処理を行ってください。

4.希釈率は規定範囲量を厳守してください。

## ■使用上の注意事項

- 開缶後よくかき混ぜて、中身を均一にしてから使用して下さい。
- 塗色によっては缶内で色分かれを起こした状態になることがありますが、異常ではありません。よくかき混ぜてから使用して下さい。
- 希釈率や塗付量は規定範囲量を厳守して下さい。「付けすぎ」や「薄めすぎ」はタレ・色わけなど仕上り不良の原因となります。
- エアスプレーやエアレススプレーによる塗装はできません。
- 性能を発揮する塗膜を形成するのに必要な最低造膜温度があるため、5℃以下での使用は避けて下さい。
- 夜間などは気温の低下によって結露し、塗面にシミがついたり、塗料をタレさせたりすることがあるので、冬期や雨天の塗装には特に注意して下さい。
- 地下室など多湿条件になりやすい場所では極端に乾燥が遅くなり、タレやフクレの原因となりますので、十分な換気を行って下さい。
- 下塗りは十分に乾燥させてから上塗りを塗装して下さい。(乾燥が不十分な場合、上塗りにワレが生じることがあります)。
- 高温(40℃以上)、および低温(0℃以下)での塗料の保存は避けてください。特に冬期において水分が凍結する恐れがある場合は注意を要します。
- 金属面が露出している場合は、適切なさび止め塗料でタッチアップしてから上塗り塗装をして下さい。
- 塗り替え時、脆弱化した旧塗膜は完全に除去して下さい。また、鉄屑等でさびが発生している部分も同様に除去し、適切なさび止め塗料で補修を行って下さい。
- 新設時にさび止め塗料が工場塗装されている場合や、塗り替え時に合成樹脂調合ペイントなどの旧塗膜が光沢を持っている場合は事前に入念な目粗しを行って下さい。
- 油脂や汚れ、ホコリなどが付いている旧塗膜面に塗装した場合、ハジキやブツが発生することがありますので注意して下さい。
- 塗装用具(ハケ・ローラー)によって、色・つや感が異なって見える場合がありますので、できるだけ同一用具で仕上げして下さい。
- 仕上げ後、キズや汚れ部を補修する場合は部分補修(タッチアップ)を行わず、全面あるいは区切りのよい面で補修を行って下さい(部分補修した箇所では色・つや感が異なって見える場合があります)。
- 本品はカビ、菌に対して繁殖を抑制する薬剤が入っていますが、すべての種類のカビ、菌に効果があることを保証するものではありませんので御了承下さい。
- ドアのゴムパッキンなど可塑性を含むものは塗膜に触れないように注意して下さい。
- 塩ビ鋼板(樹脂化粧鋼板)には塗装しないで下さい。
- コンクリート・モルタル・珪酸カルシウム板等のアルカリ質素材には塗装しないで下さい。
- ローラーは短毛ローラーを使用して下さい。またハケの種類によっては「ハケ固まり」を起こすものがあります。推奨ハケ・ローラーについては別途お問合せ下さい。  
※参考:推奨ハケ・ローラー(例)●ハケ ナイロン刷毛「空海」●ローラー 短毛ローラー(毛丈4ミリ)「トミスモールローラー仕上用」  
販売:ヤマトミ(株) TEL:06-6764-5321 FAX:06-6764-5325
- 一部の塗色、特に青、黄、赤系の濃彩色は顔料の特性上、隠ぺい性(トマリ性)が弱い傾向にあり、規定の塗装回数では仕上がらない場合がありますので御了承下さい。
- 濃彩色の場合、磨耗等によりテカリや色落ちが目立つ場合がありますのでご注意ください。
- その他、塗料の取扱いに関する一般的な注意事項の詳細については化学物質等安全データシート(MSDS)を参照して下さい。

## ■一般的注意事項

取り扱いには下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照して下さい。

- 塗料がこぼれたときは、砂などを散布した後、布類(ウエス)でふき取って下さい。また布類は水で浸して処理して下さい。
- 取扱い後は、水洗い及びうがいを充分に行ってください。

- 目に入ったときは、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 完全にフタをし、一定の場所を定めて、子供の手が届かないところに保管して下さい。
- 入院患者が居る病院内などでの塗装は避けて下さい。
- 残塗料を捨てる際には、産業廃棄物として処理して下さい。

## 関西ペイント販売株式会社

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934  
東北販売部 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪販売部 TEL(06)6337-0761 FAX(06)6330-2951  
中国販売部 TEL(086)245-9455 FAX(086)245-9460

## 株式会社カンペ共販北海道

本社 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757

## 株式会社カンペ共販四国

本社 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950

## 株式会社カンペ共販九州

本社 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

●関西ペイントホームページアドレス <http://www.kansai.co.jp/>

ご用命は